

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 4名回答、回答率 100%

保護者様： 24名回答、回答率 92 %

職員の意見

○環境・体制整備

- ・相談室を使用することで個別空間を確保している。児童生徒が落ち着いて過ごせるよう室内環境を整えていく必要がある。
- ・法令遵守した職員配置ではあるものの、送迎や曜日によって十分ではないと感じるケースもあるため安全管理の観点から配置や組み合わせなどを工夫して対応している。
- ・死角となる場所を作らないこと、全体に目を配ることを心掛けている。
- ・送迎について法人内他事業所と日々連携を取って対応している。
- ・特性を配慮した机椅子の配置など、療育内容に合わせて工夫を行っている。

○業務改善

- ・毎日の業務前ミーティングにて、当日の利用者・活動内容・連絡事項等の共有を行っている。また日常支援やヒヤリに繋がる出来事も含めて振り返りを行っている。
- ・利用者の退出後には、1日の振り返りを行い情報交換を行えている。教室内・送迎車内での出来事、保護者様との引継ぎ時で得た情報について共有・振り返りを行っている。
- ・個別支援計画の作成にあたって策定会議を行い、教室全体で支援について考える機会を設けている。

○適切な支援の提供

- ・療育活動を毎月のテーマに合わせて全職員が意見を出し合い、分担して行っている。
- ・固定化を防ぐため、季節に合わせた活動や生徒の特性を考慮した活動を取り入れるなど生徒に合わせたプログラムを考えている。また前後の週・月に被らないよう調整を行っている。
- ・職員間で書類のダブルチェックをすることで、正しい記録の作成を徹底している。

○関係機関や保護者との連携

- ・家族支援を通じて、生徒の様子やご困りごとのヒアリングを行っている。今後はご家庭の希望に沿って、他事業所や相談支援事業所などとの関係機関連携を実施していく。
- ・法人内他事業所と併用している方については保護者の同意を得たうえで事業所間での情報共有を行っている。

○保護者への説明責任等

- ・毎月のニュースレターで前々月の活動報告(写真)と次月の活動予定をお知らせしている。

○非常時等の対応

- ・毎月必ず、避難訓練を行っている。地震・火事・水害など様々な避難訓練を行っている。
- ・定期的に虐待防止研修・身体拘束防止研修を実施し、日々の支援の振り返りを行うとともに生徒一人一人に適切な支援について検討する時間を設けている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・生活空間等の配慮について、多くの保護者から適切であるにご回答いただいた。
- ・夏場の施設内の気温について「時々寒すぎることもある。」「エアコンの調節が部屋で出来るとありがたいです。」というご意見をいただいた。

○適切な支援の提供

- ・ほとんどの保護者から生徒と保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されているにご回答いただいた。
- ・活動プログラムについては、多くの保護者から良い評価をしていただいた。「お金に関することなど、生活に役立つこともやって頂けるのでとてもありがたいです。」のご意見があった。

○保護者への説明等

- ・父母の会の活動やきょうだい向けイベント・家族参加型プログラムが行われているかについて「わからない」というご意見を複数いただいた。
- ・保護者への説明や生徒の様子のご共有について、満足しているにご回答いただいた。

○非常時等の対応

- ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルについて、こどもの安全を確保するための計画について、「わからない」というご意見が数件あった。

○満足度

- ・安心感をもって通所しているか、通所を楽しみにしているかという回答に対して、ほとんどの保護者に満足していると評価をいただいた。
- ・事業所の支援に満足しているかという回答に対して、全ての保護者から満足しているにご回答いただいた。

昨年度の振り返り

○今年度取り組む具体策

- ・年に1回以上、オンライン等も活用した保護者会を実施する。また担当者を決め、ブログを更新していく。
- ・個別支援計画に基づいた、統一した支援を行えるように教室全体で支援の検討を行う。毎日の教室内ミーティングの場に限らず、日々の変化を共有する時間を設ける。
- ・近隣教室と合同的な療育活動を実施し、地域の他のこどもと活動する機会を作っていく。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・まだ残る課題: 地域交流やブログの定期更新。保護者会は実施したが、オンラインの活用には至らなかった。
- ・改善できた点: 長期休みにて買い物学習・防災センターへの課外活動の実施、日々のミーティングや策定会議に限らず、生徒や保護者の変化、状況などをスタッフ間で共有する時間を設け支援の検討をおこなった。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・毎日のミーティング等を通して、生徒の様子や支援内容を職員間で意見交換する時間を設け、情報共有を行えている。
- ・全職員で支援計画・療育活動等を考え、チームで日々の支援を行えている。
- ・療育活動が固定化されないよう活動のバランスを考え、活動内容を工夫している。
- ・日常の送迎を通じて、定期的に保護者の相談を聞く機会を設けている。

○改善点

- ・ブログの更新が出来ていない。
- ・各種マニュアルの周知が十分ではない。
- ・日々教室内ミーティングを行っているが、ヒヤリハットを職員全員がさらに意識し、より多く提出をしていく。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・定期的なブログの更新。
- ・各種マニュアルの保護者周知
- ・ヒヤリハットの作成と共有をすることで、より安全管理に努める。落ち着いて過ごせるよう環境づくりを行っていく。
- ・職員の専門性向上のため、外部研修の受講や教室内研修の実施をしていく。

○1年間で取り組む具体策

- ・担当者を決めて、更新頻度を決めブログを定期的に更新していく。
- ・お便りの配布だけではなく、保護者会や療育参観の際にマニュアルや計画について説明をおこなう。
- ・個別支援計画に基づいた、統一した支援を行えるように教室全体で支援の検討やケースワーク等の研修の実施。また、日々のミーティング・策定会議の場に限らず、児童生徒の変化を共有する時間を設ける。